

七二会地区

住民自治協議会だより 第3号

平成21年11月15日 発行：七二会地区住民自治協議会総務・安全・防災部会

4/
20

長野市と『協働に関する基本協定書』が締結されました ——「住みよい七二会」づくりを目指して——

ごあいさつ 会長 宮下 裕次文



年度始めの総会において、団らすも会長に選任されました。浅学非才の身には重過ぎる責任でございますが、皆様のご指導の下「住みよい七二会」づくりをめざして一所懸命努力して参る所存でございますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。

平成22年度から、いよいよ都市内分権が本格的にスタートします。長野市長による委嘱制度および長野市主導による「区長会」等の連合組織が廃止され、補助金も住民自治協議会に一括交付されるようになります。

任意団体となる区長会ほか9団体のあり方や組織・事業内容・予算等について、これまで塚田昌穂前会長のもと検討を進めてまいりました。

長い間慣れ親しんできたシステムの大きな変更であり、総論では理解したつもりでも具体的な各論になると、中々わかりづらいというのが偽らざるところではないかと思います。

「地域のことは地域で決める」という大きな流れの中で、何よりもまず皆様にご理解をいただくことが、来年度のスムーズな移行のための、今年度最重要課題と考えます。

そこで、「都市内分権」と「住民自治協議会」について、10地区巡回による長野市の「出前講座」を開催、疑問点については直接質問いただき皆様の理解を深めていただく場と致しました。(すでに半数の地区で終了)

七二会地区住民自治協議会の事務機構等については、有識者により細部を詰めていただいておりますが、任意団体となる10団体の代表者により協議、各団体の「規約」について、住民自治協議会として整合性を考慮しつつ役員や構成員の見直し・簡略化を図りました。

「あて職」をやめ、「団体の集合体」の中に更に別の「団体集合体」が入る形となる「〇〇協議会」の名称は「〇〇委員会」に改称、構成員も簡素化して、団体がより活動し易くなるようにしました。

中枢となる「七二会地区区長会規約(案)」では、市長委嘱が廃止された場合も「区長」の呼称を継承し、地区の代表者であることを明記しています。「小区長制度」も(長野市の30地区で呼称は様々)これまで通り当地区では変わりありません。

22年度のスタートに向けて、課題はまだまだ残されておりますが引き続き努力致してまいります。

年度計画による草刈等の「中山間地域自治活動支援モデル事業」、史跡看板設置等の「すくだし支援事業交付金」については、計画に沿って推進中です。

残された半年弱、微力ではありますが努力を重ね「すみよい七二会」にするよう皆様のご指導ご協力を願い申し上げます。



七二会支所長 早川 和夫



皆様には、日頃から市行政や地域活動推進のため、格別なるご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

長野市は、平成17年1月に1町3村と合併し、また来年平成22年1月1日に信州新町・中条村の合併を予定しております。これによりまして、人口は約8,000人増え約386,000人となり、県内では、人口が最大規模に、面積は104.02km²増え834.85km²で松本市に次ぐ規模となっております。

このように市域が一層拡大する中で、国が進めている地方分権によりまして、自治体の役割の増大や、住民自治と地域コミュニティの重要性が、再認識されているところでございます。

本市では、それぞれ地域の個性を活かし、活性化を図るために、市民の皆様への分権を進め、市民と行政との協働関係を築いていく必要があるということから、「地域の課題は地域で解決」出来る仕組みづくりとして、「都市内分権」が進められています。

現時点では、市内30地区に住民自治協議会が設立されております。今年4月20日には、若里市民文化ホールで30地区「住民自治協議会」と市との協働に関する基本協定締結式が行われました。

平成21年度中には、「七二会地区住民自治協議会」で来年度からの各種団体と住民自治協議会の運営方法や一括交付金に向けて協議し、新たな「七二会地区住民自治協議会」の事業計画・予算資金計画の作成をしていただく予定でありますので、よろしくお願ひ申し上げます。

今後ますます、少子・高齢社会が進み、社会構造そのものが変化して参りますが、「元気なまち ながの」を目指し、更に「住み良い七二会地区・住み続けたい七二会地区」の実現のため頑張りますので、住民自治協議会の皆様にはより一層のご指導・ご協力を頂きますようよろしくお願ひ申し上げます。

長野市と協働に関する基本協定を締結しました

平成21年4月20日(月)、「住民自治協議会と長野市との協働に関する基本協定締結式」が若里市民文化ホールにおいて開催されました。

市内30地区の住民自治協議会と長野市が協定を締結しました。

七二会地区からは、塙田昌穏住民自治協議会会长（当時）が出席し、鷲澤長野市長と署名調印をしました。

この協定は、平成22年度から住民自治協議会が本格的に活動を開始するにあたり、住民自治協議会と長野市の役割や協働関係を明らかにするため、「長野市及び住民自治協議会の協働に関する条例」に基づき締結したものです。



住民自治協議会と長野市との
協働に関する基本協定締結式



平成21年度七二会地区住民自治協議会
役員・評議委員・部会構成

●役員

役職	氏名	所属団体/役職
会長	宮下 賀文	区長会/会長
副会長	宮澤 和正	区長会/副会長
"	鈴木 瞳人	民生児童委員協議会/会長
"	石坂 貞幸	公民館連絡協議会/会長
会計	成田 好雄	区長会/会計
監事	石坂 東洋一	商工会七二会支部/支部長
"	小池 寛	老人クラブ連合会/会長
部会長(総務安全防災)	宮澤 和正	区長会/副会長
"(健康福祉)	峯村 敬一	社会福祉協議会/会長
"(地域振興環境)	太田 正彦	地域活性化委員会/会長
"(教育文化)	石坂 貞幸	地域公民館連絡協議会/会長

●評議委員

氏名	所属団体/役職
宮下 賀文	区長会/会長
宮澤 和正	区長会/副会長
成田 好雄	区長会/会計
青木 和夫	区長会/区長
小池 宏	区長会/区長
坂田 五男	区長会/区長
小林 貴雄	区長会/区長
山田 正明	区長会/区長
吉原 正	区長会/区長
神田 政道	区長会/区長
石坂 東洋一	商工会七二会支部/支部長
宮崎 一成	農協西部支所/支所長
鈴木 学	交通安全協会/会長
宮澤 俊弘	交通安全推進委員会/会長
酒井 美知子	" 母の会部会/部会長
小林 学	消防団七二会分団/分団長
吉澤 美枝子	白バラ友の会/会長
溝口 雪枝	日赤奉仕団七二会分団/委員長
宮下 賀文	防犯協会/会長
宮下 賀文	自主防災会/会長
峯村 敬一	社会福祉協議会/会長
早川 洋子	福祉推進員会/会長
鈴木 瞳人	民生児童委員協議会/会長
吉原 喜代子	保健補導員会/会長
小池 寛	老人クラブ連合会/会長
鈴木 敏	身体障害者福祉協会/会長
太田 正彦	地域活性化委員会/会長
峯村 敬一	特別植林組合/管理者
石坂 尚	郷土歴史資料館管理運営委員会/会長
石坂 東洋一	陣場平山トレッキング推進協議会/会長
宮澤 澄	農家組合/会長
小林 豊二	環境美化連合会/会長
宮下 賀文	河きれ会/会長
下条 俊重	子ども会育成協議会・青少年育成地区会議/会長
北島 美千代	少年育成委員会/会長
島田 実也	小・中学校PTA/会長
成田 好雄	文化芸術団体連絡協議会/会長
石坂 貞幸	地域公民館連絡協議会/会長
北澤 善仁	人権同和教育促進協議会/会長
宮澤 俊弘	体育指導委員会/会長
林 捷明	有害鳥獣対策委員会/会長

●顧問及び有識者

役職	氏名	所属団体/役職
顧問	小林 紀美子	市会議員
"	渡邊 昌孝	農業委員
有識者	太田 志郎	H18住民自治協議会研究会長
"	宮澤 兵衛	H19住民自治協議会会長
"	塚田 昌稔	H20住民自治協議会会長

●部会構成

部会	構成団体
総務安全防災部会	区長会 交通安全協会 交通安全推進委員会 安推母の会部会 商工会七二会支部 白バラ友の会 防犯協会
健康福祉部会	社会福祉協議会 民生児童委員協議会 保健補導員会 身体障害者福祉協会
地域振興環境部会	地域活性化委員会 環境美化連合会 河きれ会 農家組合 陣場平山トレッキング推進協議会
教育文化部会	子ども会育成協議会 少年育成委員会 小中学校PTA 地域公民館連絡協議会 郷土歴史資料館管理運営委員会

※部会が重複する団体

中山間地域自治活動支援モデル事業の概要

趣旨

人口減少や高齢化等により、自治活動が難しくなっている中山間地域において市からの交付金を受け、住民自治協議会が実施する地域特有の課題解決の方策を探るとともに支援活動を行うものです。

指定地区

高齢化率が高い集落が存在し、公益的活動が難しくなっている地区（市が指定）

生活支援員

住民自治協議会が地区内の住民の中から選任し支援活動を行います。



ずくだし支援事業の概要 (平成21年度までの事業)

趣旨

住民自治協議会において、市の交付金と地区的負担により、地域の身近な課題への取組みやまちづくり、活性化等の事業を行うものです。

対象経費

地区内の課題に対応するための事業費、住民自治協議会の運営費
(市交付金8割、地区負担2割)

交付金限度額 円 385,000円



今年度事業

トレッキングコース鳥瞰図案内看板、重要文化財案内看板、広報誌発行、広報誌作成用機器の購入等を予定しています。

編集後記



平成22年度より住民自治協議会に全面移行されます。期待とそれにも増した、不安な心境です。自治協議会という新雪に、的確な方向づけの足跡をひとつ、ひとつ残していく事は重要なと思います。発行にあたり、ご協力ありがとうございました。

広報担当：宮澤和正・小池 宏・山田正明・神田政道